

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-181604

(43)公開日 平成11年(1999)7月6日

(51)Int.Cl.⁶

A 41 D 1/06

識別記号

F I

A 41 D 1/06

G

N

審査請求 未請求 請求項の数8 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願平9-349338

(22)出願日 平成9年(1997)12月18日

(71)出願人 390025128

株式会社フェニックス

東京都中央区日本橋室町4-3-15

(72)発明者 田島 民彦

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-32-10 株式会
社フェニックス内

(72)発明者 米山 永浩

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-12-13 有限会
社ニーザモードプロダクション内

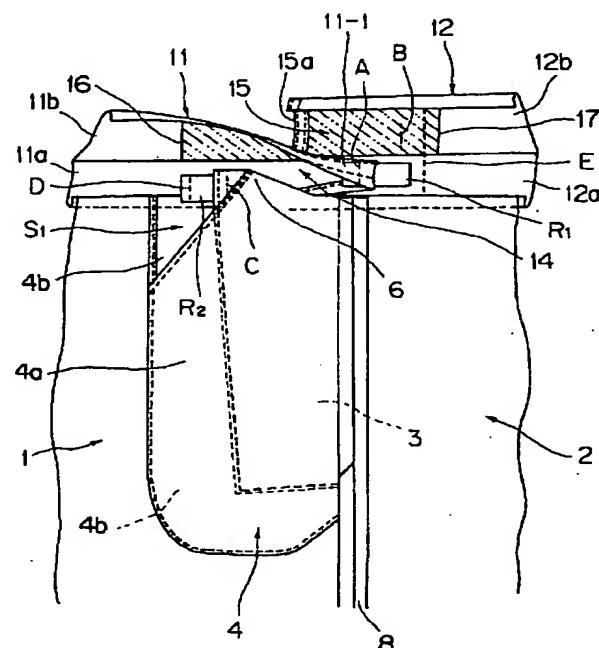
(74)代理人 弁理士 濵野 秀雄 (外1名)

(54)【発明の名称】ズボン等のウエスト伸縮構造

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 ウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従できる目立たないウエスト伸縮構造。

【解決手段】 一端が脇ポケット口の上端附近から延びて、後ウエストベルト12の袋状部15の口15aから袋状部の中に挿入される前ウエストベルト11の延長部11-1の端に縫着され、他端が後ウエストベルト見返し12b又は後ウエストベルト表側12aに縫着された第1の弾性材R1を備える。また一端が、向布側ポケット袋布4a及び向布3から成る延出部6の向布の横端近傍に縫着され、他端が前ウエストベルト表側11aに縫着された第2の弾性材R2、並びにポケット袋4のスリット明きS1を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前身頃の略上端に縫着された前ウエストベルト及び後ろ身頃の略上端に縫着された後ウエストベルト並びに脇ポケット及び向こう布を有するズボン等のウエスト伸縮構造において、(イ)一端が、脇ポケット口の上端又は上端近傍から延長されて、後ろベルトの袋状部の口から該袋状部の中に挿入される、前ウエストベルトの延長部の端に縫着により連結され、他端が、後ろウエストベルト見返し又は後ろウエストベルト表側に縫着により連結された第1の弾性材、(ロ)一端が、向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍に縫着により連結され、他端が、前ウエストベルト表側に縫着により連結された第2の弾性材、及び、(ハ)向こう布側ポケット袋布の奥上端角を該延出部の向こう布の横端近傍から斜め下方向に切断して設けたポケット袋のスリット明き、を有し、且つ、前記向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部を、前ウエストベルトの延長部の端の連結部分近傍から向こう布の横端を越えた部分かけて形成された前ウエストベルトのフランジ部に、スライド自在に設けたことを特徴とするズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項2】 前ウエストベルト表側及び後ウエストベルト表側に芯材を固着したことを特徴とする請求項1記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項3】 前ウエストベルトの見返しの略フランジ部形成部分に芯材を固着したことを特徴とする請求項1又は2記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項4】 後ウエストベルトの見返しにおける袋状部の口から第1の弾性材の他端が連結される部分近傍にかけて芯材を固着したことを特徴とする請求項1、2又は3記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項5】 向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍における向こう布の裏側に芯材を固着したことを特徴とする請求項1、2、3又は4記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項6】 第1の弾性材の他端あるいはその近傍にほぼ対応する後ウエストベルトを閉じ縫いによる縫着により固着したことを特徴とする請求項1、2、3、4又は5記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項7】 前ウエストベルト及び後ウエストベルトの表側に形成された縫着による縫い目を覆うようにベルト通しを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5又は6記載のズボン等のウエスト伸縮構造。

【請求項8】 向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の横端から下方に延びる部分に対応する裏地の部分にスリット明きを設け、該スリット明きの一方の側の裏地を該延出部の横端側に配置し、該スリット明きの他方の側の裏地を前身頃側に配置して、前身頃及び後ろ身頃の略上端に取り付けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、6又は7記載のズボン等のウエスト伸

縮構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ウエスト部分にポケットを備えたズボン、キュロット、スカート等(以下、「ズボン等」という。)のウエスト伸縮構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、一端が、脇ポケット口の上端又は上端近傍から延長されて、後ろウエストベルトの袋状部の口から該袋状部の中に挿入される、前ウエストベルトの延長部の端に縫着により連結され、他端が、後ろウエストベルト表側に縫着により連結された弾性材を有するウエスト部分にポケットを備えたズボン等のウエスト伸縮構造は、提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような従来のズボン等のウエスト伸縮構造は、着用時におけるウエストの伸縮変化に追従するが、一ヵ所の弾性材により伸縮を保持しているために、ウエストの伸縮変化に対する追従をシャープにしようすれば、引っ張り強さの大きな弾性材を用いなければならず、そのために、弾性材の引っ張り強さが大きくなりすぎてウエストに締め付け感を与える、しかも、弾性材の取り付け部分に引っ張りによる変形を生じさせて外見を悪くし、デザイン的に劣ったものとなる、という問題がある。また、引っ張り強さの小さな弾性体を用いると、ウエストの伸縮変化に対する追従が不十分なものになってしまふ、という問題がある。

【0004】本発明は、かかる問題を解決することを目的としている。即ち、本発明は、ウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従することができるデザイン的に目立たないズボン等のウエスト伸縮構造を縫製し易い構造にして低コストで提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明者は、このような課題を解決するために、既存のデザイン、機能、資材等の利用により「ズボン等のウエスト伸縮構造」を発展させてその新規な機能を開発すべく鋭意検討したところ、向こう布側ポケット袋布及び向こう布に延出部を設け、この延出部を前ウエストベルトの延長部の端の連結部分近傍から向こう布の横端を越えた部分かけて形成された前ウエストベルトのフランジ部にスライド自在に設けると共に向こう布側ポケット袋布の奥上端角を該延出部の横端近傍から斜め下方向に切断してスリット明きを設け、そして、一端が該延出部の横端に縫着により連結され、他端が、前ウエストベルト表側に縫着により連結されたもう一つの弾性材を設ければ、ウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従することができ、しかも、弾性材の取り付け部分に引っ張

りによる変形を生じさせないズボン等のウエスト伸縮構造を縫製し易い構造にして提供できることを見出しており本発明を完成するに至った。

【0006】本第1発明は、上記目的を達成するためには、前身頃の略上端に縫着された前ウエストベルト及び後ろ身頃の略上端に縫着された後ウエストベルト並びに脇ポケット及び向こう布を有するズボン等のウエスト伸縮構造において、(イ)一端が、脇ポケット口の上端又は上端近傍から延長されて、後ろベルトの袋状部の口から該袋状部の中に挿入される、前ウエストベルトの延長部の端に縫着により連結され、他端が、後ろウエストベルト見返し又は後ろウエストベルト表側に縫着により連結された第1の弹性材、(ロ)一端が、向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍に縫着により連結され、他端が、前ウエストベルト表側に縫着により連結された第2の弹性材、及び、

(ハ)向こう布側ポケット袋布の奥上端角を該延出部の向こう布の横端近傍から斜め下方向に切断して設けたポケット袋のスリット明き、を有し、且つ、前記向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部を、前ウエストベルトの延長部の端の連結部分近傍から向こう布の横端を越えた部分かけて形成された前ウエストベルトのフランジ部に、スライド自在に設けたことを特徴とするズボン等のウエスト伸縮構造である。

【0007】本第2発明は、第1発明において、前ウエストベルト表側及び後ウエストベルト表側に芯材を固着したことを特徴としている。

【0008】本第3発明は、第1又は第2発明において、前ウエストベルトの見返しの略フランジ部形成部分に芯材を固着したことを特徴としている。

【0009】本第4発明は、第1、第2又は第3発明において、後ウエストベルトの見返しにおける袋状部の口から第1の弹性材の他端が連結される部分近傍にかけて芯材を固着したことを特徴としている。

【0010】本第5発明は、第1、第2、第3又は第4発明において、向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍における向こう布の裏側に芯材を固着したことを特徴としている。

【0011】本第6発明は、第1、第2、第3、第4又は第5発明において、第1の弹性材の他端あるいはその近傍にほぼ対応する後ウエストベルトを閉じ縫いによる縫着により固着したことを特徴としている。

【0012】本第7発明は、第1、第2、第3、第4、第5又は第6発明において、前ウエストベルト及び後ウエストベルトの表側の縫着による縫い目を覆うようにベルト通しを設けたことを特徴としている。

【0013】本第8発明は、第1、第2、第3、第4、第5、第6又は第7発明において、向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の横端から下方に延びるスリット明きを有する裏地を、該スリット明きの一方

の側の裏地を該延出部の横端側に配置し、該スリット明きの他方の側の裏地を前身頃側に配置して、前身頃及び後ろ身頃の略上端に取り付けたことを特徴としている。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態をズボンに採用した例によって図面に基づいて説明する。

【0015】図1は、本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の正面図であって、(a)は、ウエストが伸張していない状態を示す図であり、(b)は、ウエストが伸張した状態を示す図である。図2は、本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の一部分解背面図である。図3は、本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の一部分解背面説明図である。図4は、向こう布の裏側の拡大説明図である。図5は、本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の背面説明図であって、(a)は、ポケット袋のスリット明きが閉じた状態を示す背面説明図であり、(b)は、ポケット袋のスリット明きが開いた状態を示す背面説明図である。そして、図6は、本発明の他の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の背面説明図であって、(a)は、裏地のスリット明きが閉じた状態を示す背面説明図であり、(b)は、裏地のスリット明きが開いた状態を示す背面説明図である。

【0016】図1、2に示されるように、本発明のズボンのウエスト伸縮構造は、前身頃1の略上端に縫着された前ウエストベルト11及び後ろ身頃2の略上端に縫着された後ウエストベルト12並びに脇ポケット袋4よりなるポケット及び向こう布3を有している。そして、本発明のズボンのウエスト伸縮構造は、(イ)一端が、脇ポケット口1aの上端又は上端近傍から延長されて、後ろベルト12の袋状部15の口15aから該袋状部15の中に挿入される、前ウエストベルト11の延長部11-1の端に縫着部Aで縫着により連結され、他端が、後ろウエストベルト見返し12b又は後ろウエストベルト表側12aに縫着部Bで縫着(後ろウエストベルト表側12aへの縫着は図示せず)により連結された第1の弹性材R1、及び、(ロ)一端が、向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6の向こう布3の横端近傍に縫着部Cで縫着により連結され、他端が、前ウエストベルト表側11aに縫着部Dで縫着により連結された第2の弹性材R2を有しており、さらに、(ハ)向こう布側ポケット袋布4aの奥上端角を該延出部5の向こう布3の横端近傍から斜め下方向に切断して設けたポケット袋4のスリット明きS1を有している。また、前記前身頃1及び後ろ身頃2は、脇線8の部分で縫着されており、さらに、該脇線8の部分で、向こう布3及びポケット袋4が縫着されている。

【0017】前記弹性材としては、例えば、ポリウレタン弹性糸、ポリエステル・ウレタン弹性糸等で作成されたベルトが用いられるが、本発明の目的に反しない限り

その他の弾性材を用いてもかまわない。

【0018】図2、3に示されるように、前記向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6は、前ウエストベルト11の延長部11-1の端の縫着部Aによる連結部分近傍から向こう布3の横端を越えた部分にかけて、即ち、図3のFの部分に形成された斜めにカットされた前ウエストベルト11のフランジ部14に、スライド自在に設けられている。このフランジ部14を内部に有する前ウエストベルト布11の延長部11-1を図3に示されている1印の方向に覆うように後ベルト布12が取り付けられる。このように、後ウエストベルト布12が取り付けられることにより、その内部に袋状部15が形成される。

【0019】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造においては、芯材(図示せず)を前ウエストベルト表側11a及び後ウエストベルト表側12aに樹脂等により固定することにより、ウエストベルトの補形及び補強をすることができる。

【0020】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造においては、図2に示されているように、芯材17を後ウエストベルトの見返し12bにおける袋状部15の口15aの部分から第1の弾性材R1の他端が縫着部Bにより連結される部分近傍にかけて樹脂等により固定することにより、後ウエストベルト12bの補形及び補強をすることができ、且つ、前ウエストベルト11の延長部11-1の滑らかなスライドを確保することができる。

【0021】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造においては、図2に示されているように、芯材16を前ウエストベルト11の見返しの略フランジ部形成部分に樹脂等により固定することにより、ウエストベルトの補形及び補強をすることができ、且つ、向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6の滑らかなスライドを確保することができる。

【0022】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造においては、図4に示されているように、向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6の向こう布の横端近傍における向こう布3の裏側に芯材5を樹脂等により固定して、該延出部6を補形及び補強することができる。このように延出部6を補形及び補強したので、該延出部6は、第2の弾性材によって引っ張られても、変形又は破損するようなことにはならない。

【0023】本発明において用いられる芯材としては、補形性及び十分な強度を有し、且つ、スライド性の良い合成繊維、例えば、ポリエスチル繊維、ポリエスチル繊維・綿の混紡繊維等により形成された布帛が用いられる。そして、このような布帛により形成された芯材は、好適には、その表面に熱溶融性の合成樹脂が付着され、その合成樹脂がアイロン等により溶融されて、所望の箇所に固定される。

【0024】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造にお

いては、図1、2に示されているように、第1の弾性材R1の他端あるいはその近傍にほぼ対応する後ウエストベルト12が縫着部Eで後ウエストベルト表側12aと後ウエストベルト見返し12bとの閉じ縫いによる縫着により固定される。そのために、本発明のズボン等のウエスト伸縮構造は、後ウエストベルト12における引っ張りの動きに対する安定性と耐久性を得ることができる。

【0025】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造においては、図1に示されているように、ベルト通し18が前ウエストベルト11及び後ウエストベルト12の表側に形成された縫着部D及び縫着部Eのごとき縫着による縫い目を覆うように取り付けることができる。そのために、ベルト通しが縫着による縫い目を目立たなくすることができ、縫着による縫い目がウエストベルトの外観、即ち、デザインに悪影響を与えることはない。

【0026】本発明のズボン等のウエスト伸縮構造においては、図6に示されているように、向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6の横端から下方に延びる部分に対応する裏地7の部分にスリット明きS2を設け、該スリット明きS2の一方の側の裏地7aを該延出部6の横端側に配置し、該スリット明きS2の他方の側の裏地7bを前身頃側に配置して、前身頃1及び後ろ身頃2の略上端に取り付けることができる。

【0027】本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」の作用を説明すると、次のとおりとなる。

【0028】即ち、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、図2で示されるような内部構造を有しているので、着用時に、例えば、立位時及び座位時、空腹時及び満腹時等に、人体ウエストに伸縮変化が生じると、それに追従して、図1(a)の前ウエストベルト11及び後ウエストベルト12の状態から図1(b)の前ウエストベルト11及び後ウエストベルト12の状態、即ち、→→で示される矢印の方向に広がり、そして、図1(a)の前ウエストベルト11及び後ウエストベルト12の状態に戻るといった、伸縮変化を生じる。そして、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、後ウエストベルトの見返し12bにおける袋状部15の口15aの部分から第1の弾性材R1の他端が縫着部Bにより連結される部分近傍にかけて芯材17を樹脂等により固定して、前ウエストベルト11の延長部11-1の滑らかなスライドを確保することができ、しかも、芯材16を前ウエストベルト11の見返しの略フランジ部形成部分に樹脂等により固定して、向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6の滑らかなスライドを確保することができるので、ウエストベルト、即ち、前ウエストベルト11及び後ウエストベルト12がウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従することができる。

【0029】また、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮

構造」は、図1、5に示されるように、向こう布側ポケット袋布4aの奥上端角を該延出部5の向こう布3の横端近傍から斜め下方向に切断して設けたポケット袋4のスリット明きS1を有しているので、前記前ベルト11及び後ベルト12の伸縮変化に追随して、図5(a)のスリット明きS1の状態から図5(b)のスリット明きS1の状態、即ち、←→で示される矢印の方向に広がり、そして、図5(a)のスリット明きS1の状態に戻るといった、伸縮変化を生じる。

【0030】さらに、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、図6に示されるように、向こう布側ポケット袋布4a及び向こう布3よりなる延出部6の横端から下方に延びる部分に対応する裏地7の部分にスリット明きS2を設けたので、前記スリット明きS1と同様に、前記前ベルト11及び後ベルト12の伸縮変化に追随して、図6(a)のスリット明きS2の状態から図6(b)のスリット明きS2の状態、即ち、←→で示される矢印の方向に広がり、そして、図6(a)のスリット明きS2の状態に戻るといった、伸縮変化を生じる。

【0031】以上、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」の利点をまとめると、次のとおりとなる。

【0032】(1) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、①一端が、脇ポケット口の上端又は上端近傍から延長されて、後ろベルトの袋状部の口から該袋状部の中に挿入される、前ウエストベルトの延長部の端に縫着により連結され、他端が、後ろウエストベルト見返し又は後ろウエストベルト表側に縫着により連結された第1の弾性材、並びに、②一端が、向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍に縫着により連結され、他端が、前ウエストベルト表側に縫着により連結された第2の弾性材、を設け、③前記向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部を、④前ウエストベルトの延長部の端の連結部分近傍から向こう布の横端を越えた部分かけて形成された前ウエストベルトのフラシ部に、スライド自在に設けたので、伸縮に対する耐久性と強度とが向上すると共に、ウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従することができ、そして、スライド範囲の両端で引き合うために、伸びて開いた状態でも、縮んで戻った状態でも、常に、スライドに伴う各パーツの納まりの安定性がよい。さらに、弾性材を2カ所に分けて用いているので、弾性材にかかる力を分散させることができ、そのために、弾性材の取り付け部分に引っ張りによる変形を生じさせない。

【0033】(2) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、このようにウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従することができる構造を有しているので、ゴルフ、テニス、卓球、バトミントン等のウエストの伸縮変化の激しいスポーツにおいて装着されるズボン、スカート、キュロット等に有

効に用いることができる。もちろん、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、日常生活において装着されているズボン、スカート、キュロット等に用いることができる。また、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、ウエストサイズの調整をする作用もあるので、1ランク程度の小さいと思われるズボン、スカート、キュロット等でも着用可能となる。

【0034】(3) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、「前切りポケット口上端」を位置合わせの基準ポイントとして第2の弾性材を「前ウエストベルト表側のベルト通し巾下の中央」に縫着部Dで止め縫いし、しかも後、第1の弾性材を許容範囲のある「後ウエストベルト見返し側」に縫着部Bで止め縫いすることができる。位置合わせとセットとを容易にし、且つ、止め縫い糸を表から見えなくすることができる。このように、本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、縫製し易い構造になっているので、低コストで量産することを可能としており、また、デザイン的に悪い影響を製品に与えることもない。

【0035】(4) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、芯材を、①前ウエストベルト表側及び後ウエストベルト表側、②前ウエストベルトの見返しの略フラシ部形成部分、③後ウエストベルトの見返しにおける袋状部の口の部分から第1の弾性材の他端が縫着部により連結される部分近傍にかけての部分、あるいは、④向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍における向こう布の裏側に、樹脂等により固定したので、①～④の部分を補形及び補強をすることができ、さらに、②～③の部分のスライド性を向上させることができる。

【0036】(5) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、向こう布側ポケット袋布の奥上端角を向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の向こう布の横端近傍から斜め下方向に切断して設けたポケット袋のスリット明きを設けたので、前ウエストベルト及び後ウエストベルトの伸縮が可能となる。

【0037】(6) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、上記(1)に記載の①～④の構成を有しているので、向こう布側ポケット袋布及び向こう布よりなる延出部の横端から下方に延びる部分に対応する裏地の部分にスリット明きを設けるだけで、前ウエストベルト及び後ウエストベルトの伸縮を可能とすると共に、従来この種のズボン等では不可能とされていた裏付き仕立てを可能とする。

【0038】(7) 本発明の「ズボン等のウエスト伸縮構造」は、ベルト通しを前ウエストベルト及び後ウエストベルトの表側に形成された縫着による縫い目を覆うように取り付けるので、縫着による縫い目を目立たなくすることができ、そのために、縫着による縫い目がウエストベルトの外観、即ち、デザイン、に悪影響を与えること

はない。

【0039】

【発明の効果】ウエストに締め付け感を与えることなくウエストの伸縮変化にシャープに追従することができるデザイン的に目立たないズボン等のウエスト伸縮構造を縫製し易い構造にして低成本で提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の正面図であって、(a)は、ウエストが伸張していない状態を示す図であり、(b)は、ウエストが伸張した状態を示す図である。

【図2】本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の一部分解背面図である。

【図3】本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の一部分解背面説明図である。

【図4】向こう布の裏側の拡大説明図である。

【図5】本発明の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の背面説明図であって、(a)は、ポケット袋のスリット明きが閉じた状態を示す背面説明図であり、(b)は、ポケット袋のスリット明きが開いた状態を示す背面説明図である。

【図6】本発明の他の一実施の形態を示すズボンのウエスト伸縮構造の背面説明図であって、(a)は、裏地のスリット明きが閉じた状態を示す背面説明図であり、(b)は、裏地のスリット明きが開いた状態を示す背面説明図である。

【符号の説明】

1 前身頃

1 a 脇ポケット口

2 後ろ身頃

3 向こう布

4 脇ポケット袋

4 a 向こう布側ポケット袋

4 b 脇ポケット口側ポケット袋

5 芯材

7 裏地

7 a スリット明きS2 の一方の側の裏地

7 b スリット明きS2 の他方の側の裏地

8 脇線

S1 ポケット袋のスリット明き

S2 裏地のスリット明き

1 1 前ウエストベルト

1 1 a 前ウエストベルト表側

1 1 b 前ウエストベルト見返し

1 1 - 1 延長部

1 2 後ウエストベルト

1 2 a 後ウエストベルト表側

1 2 b 後ウエストベルト見返し

R1 第1の弾性材

R2 第2の弾性材

1 4 フラシ部

1 5 袋上部

1 5 a 袋上部の口

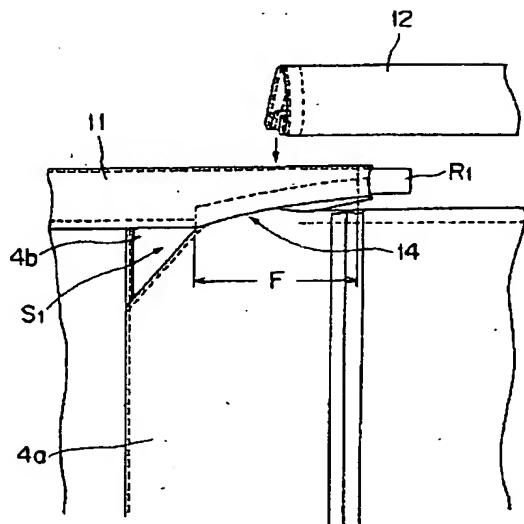
1 6 芯材

1 7 芯材

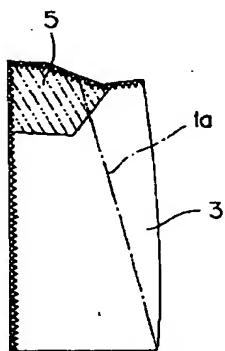
1 8 ベルト通し

A、B、C、D、E、F 縫着部

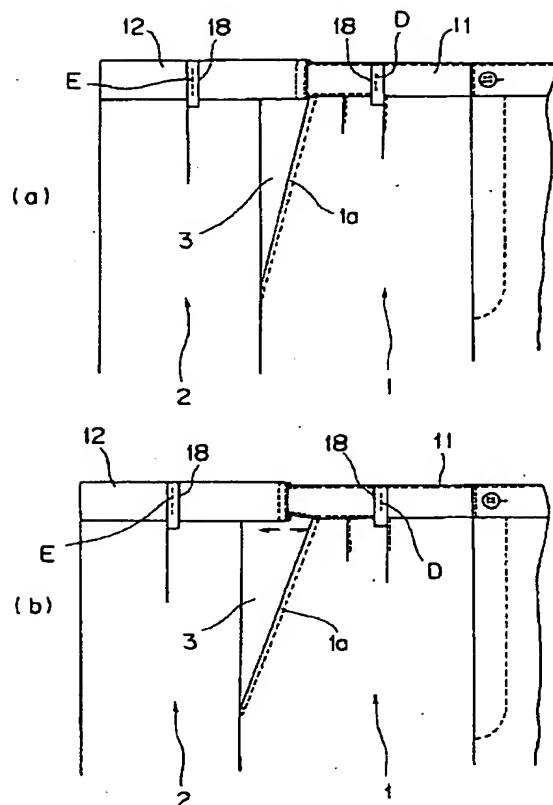
【図3】



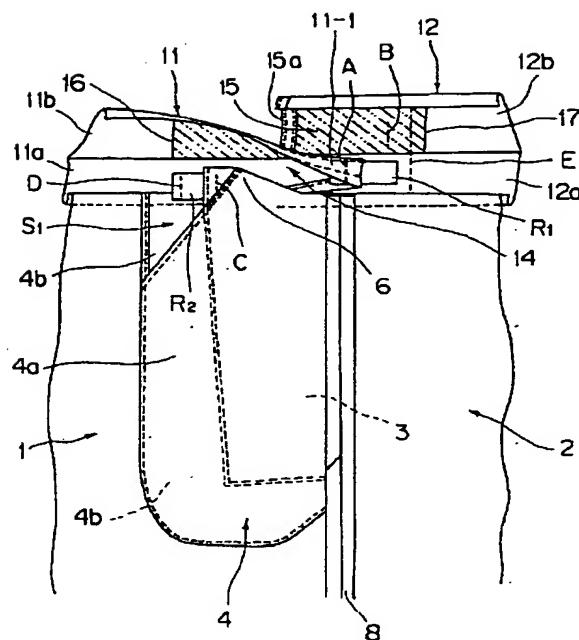
【図4】



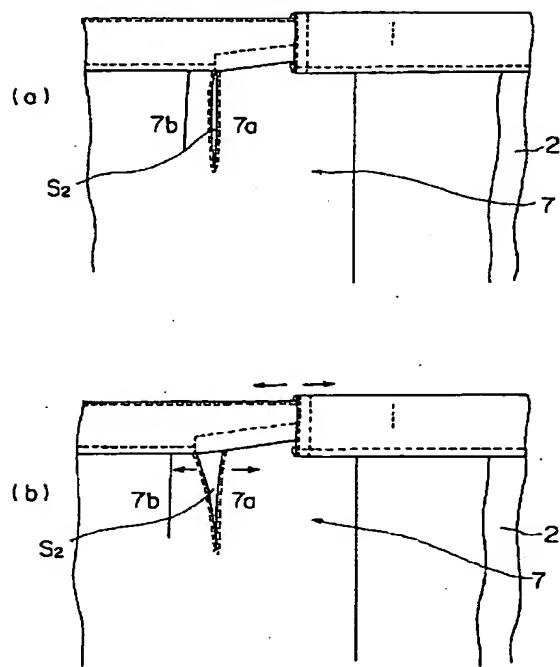
【图 1】



〔図2〕



[图 6]



〔図5〕

